

## Top Message



代表 佐藤 修朗

## 自動車業界大変革の時代に皆さんと挑戦し続けたい

1986年、福島トヨペットは創立30周年を機に、新しいグループ名称を『I&Iグループ』と改めました。InnovationとIdentityの頭文字2つでI&I。現状に甘んじることなく常にイノベーション(革新)を繰り返しながら、私たちならではのアイデンティティ(独自性)にあふれた商品・技術・サービスをお届けし、社会に貢献したい、という願いを込めて命名しました。

「自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えた」と言われており、それは同時に大きなビジネスチャンスの訪れであるとも捉えています。自動車業界の新時代に向けて、私たちはグループのそれぞれの持ち味を生かし、足し算をかけ算にしていきたい、皆さんと共に挑戦し続けたいと考えています。福島県という、この愛すべき地で、一所懸命、明日への挑戦を一緒にしてみませんか。

### 社員満足向上の先にある「働きやすい職場」

福島県のカーライフを支える「I&Iグループ」には、主に3つの会社がある。「福島トヨペット」「ネットトヨタノヴェルふくしま」「ダイハツ福島」だ。まずは、各社で行われている「働きやすい職場づくり」の取り組みの一部を紹介していこう。

#### 福島トヨペット

60年という長い歴史の中で築かれた研修体制を持つほか、「REBORN活動」を推進している。これは役職や肩書きを超え、ダイアログ(対話)を通して社員同士が意識を高め、合おうという取り組み。常により良い会社づくりを目指そうという、同社の姿勢を示している。

#### ネットトヨタノヴェルふくしま

新しい客層を広げるため生まれた販売会社ということもあり、若い感性やチャレンジを応援しようと様々な制度を設けている。中でも「ビッグブラザー制度(BB制度)」は、新入・先輩社員が「共育ノ

ト」を通したOJT(現場訓練)により、共に成長していくという画期的な取り組みだ。

#### ダイハツ福島

軽自動車シェアNo.1を誇るダイハツ車を取り扱い、若い女性の客層を中心に、スタッフも女性の活躍が目立つ。社員の働きやすさを重視するため「ES向上プロジェクト」を立ち上げ、より良い会社づくりに励んでいる。

こうした三社三様の試みや特性は、多様な顧客ニーズに対応するだけでなく、多才な人材の呼び水にもなっている。いわゆるピラミッド構造ではなく、輪の中にみんながいる、そんなイメージが「I&Iグループ」の組織。役員も社員と同じフロアで働くなど、「風通しが良いところはきっとどこにも負けない」と、スタッフたちは胸を張る。

### 3つの「満足サイクル」を回し、前向きに向上

「I&Iグループ」では社員満足(E.S.)の向上こそが何よ

## 会社情報



- 設立 1926年(昭和元年)第一タクシー商会
- 社長 佐藤 修朗
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 1,135名(2021年12月現在)
- 拠点数 59店舗

- 福島トヨペット TEL / 024-946-1111 <https://fukushima-toyopet.co.jp/>
- ネットトヨタノヴェルふくしま TEL / 024-947-1011 <https://www.novel-f.co.jp/>
- ダイハツ福島 TEL / 024-947-0911 <https://daihatsu-fukushima.co.jp/>

### 企業の魅力

- 1 世界のトヨタ品質を「地域のお客様」に
- 2 グループ力を生かして「地域社会の未来」に貢献
- 3 社員間のチームワークや風通しが良い

## 業務内容

### ●自動車販売・買取・自動車部品販売(福島トヨペット・ネットトヨタノヴェルふくしま・ダイハツ福島)

トヨタ全車種、レクサス、ダイハツ、フォルクスワーゲンの新車販売及び点検・整備、修理業務、アフターサービス、各種U-Carの販売・買取、KDDIグループの携帯電話販売、保険代理店業

### ●トヨタレンタリース新福島

自動車のレンタル、リース営業業務

### ●ジェームス福島

カー用品の販売業務

### ●第一モーター

### ●アイアンドアイ

### 編集部スタッフが見たトヨタI&Iグループ

取材を通じてグループ3社に対して抱いた印象は「人柄の良さ」。部署を問わず、「この人なら自分の車を任せてもいい」と思えるような誠実な人ばかり。社内の上下関係もソフトで、入社歴の浅い社員もイキイキしていました。

職場の雰囲気や動画をチェック!



その他、採用情報・各種申し込み・問い合わせもこちらから

# トヨタI&Iグループ

福島トヨペット  
ネットトヨタノヴェルふくしま  
ダイハツ福島

自動車や保険・携帯電話等の販売、自動車のメンテナンス、アフターサービス

## グループ力を生かしてクルマの未来に貢献



- 1 若さと元気がみなぎる「福島トヨペット」「ネットトヨタノヴェルふくしま」「ダイハツ福島」のスタッフたち
- 2 3ディーラー合同で行うエンジニア研修の様子
- 3 新入社員が3ヵ月ごとに行う「振り返り研修」の様子
- 4 内定者懇談会の様子。親睦を深めるために、内定者と研修インストラクターとでバーベキューを開催

# 先輩スタッフに聞きました 仕事のあれこれQ&A

## Q 営業スタッフって、飛び込みで一軒一軒訪ねたりするんですか？

A 当社はお客様に直接店舗へご来店いただく「来店型」の営業スタイルです。年に数回しかお会いできないお客様と出来るだけ多くお話をし、その方に合ったご提案をしています。新人の頃から上司に営業のコツなどを学び、少しずつ前進しています。



ネットトヨタノヴェルふくしま 営業  
橋本 卓弥さん(2018年入社)

## Q ノルマはありますか？

A ノルマはありませんが、達成するための販売目標があります。目標に向けて自分で考えて行動して達成できた時はとても達成感があり、上司も一緒に喜んでくれます。お客様の笑顔もやりがいにつながっています。



福島トヨベツト 営業  
渡邊 憂樹さん(2020年入社)

## Q 目標としていることは何ですか？

A 女性の営業職らしい気配りを大切にしながら、地域の方々に寄り添ったカーライフのサポートができる、魅力ある人材になることが目標です。アットホームな雰囲気の中で、メリハリをつけて指導いただく先輩には感謝しています。



ダイハツ福島 営業  
佐野 静香さん(2020年入社)

## Q クルマについて知識がないのですが大丈夫ですか？

A 車の知識はあるに越したことはありませんが、思うほどなくても心配ありません。カタログの見方や車種ごとの特長を把握することで要点は伝えられます。また何より大切だと思うのはお客様の情報を聞き出し、一緒に楽しみながら話すことだと思います。



ダイハツ福島 営業  
目黒 魁人さん(2020年入社)



「スペシャルオリンピックス」を通じて、知的障害のある方とスポーツを楽しみながら共に成長につなげる活動を行っている

り大切だと考えている。社員の満足度が高まれば、顧客にも寄り添ったサービスを提供できるようになる。そうして顧客満足(CS)が高まれば、企業体満足(DS)も増していき、そこで生まれた利益を社員に還元することができる。このような3つの「満足」のサイクルを回し続け、常に前向きに向上することを目指しているのだ。

ES向上のために、アンケートによる社員満足調査を行い、プロジェクトチームに

より今後の取り組みの話し合いが行われる。このESプロジェクトチームでは、役員と社員双方がメンバーとなり意見を交換する。これは「社員みんながチームなのだから、役職や肩書きなど関係なく一緒にやっていこう!」という代表の考えによるもの。販売に関してもノルマは設けず、社員が自ら取り組む姿勢を大切にしている。

また、近年、子どもの課外活動や競技大会出場により、職場が忙しい土・日に休みを希望する社員の声もあり、2021年10月より、新たに短時間正社員(週休3日制度)を導入。さらに、仕事は楽しくなければCSにはつながらないと、社員のやる気やチャレンジ精神を汲み取ってくれる環境もある。こうした社風から若手スタッフからは「上司にも話しかけやすく、社員同士の仲が良い働きやすい職場」という声が多く聞かれた。

## 人を育てる環境がある、愛(一)のあふれる会社

『I&Iグループ』の各ディーラーではレクサス、トヨタ、ダイハツ、フォルクス

ワーゲンといったブランドを擁している。豊富な車種を取り扱い、しかもディーラー間で相互に販売・整備を行えるため、幅広い客層に対応できることが強みとなっている。さらにグループ内では、「トヨタレンタリース」店舗でのレンタル事業のほか、カー用品販売の「ジェームス」での他メーカー車ユーザーとの交流も日常的に行っている。自動車全般はもちろん、情報通信まで様々な分野で地域とつながっているのは、郷土福島に深く貢献していきたいという思いがあるからだ。

すでにトヨタ全販売店では「全車種併売化」が行われており、これまでの「乗りたい車で販売店を選ぶ」時代から、「そこで働くスタッフで店を選ぶ」時代になりつつある。その意味では、「この人から買いたい」と思ってもらえるづくりが大切になってくる。

『I&Iグループ』には、その人づくりに尽力する気風がある。社員の主体性を大切に、先輩や上司の温かいサポートとチームワークが揃った、愛(一)にあふれる会社として、これからも進化していくに違いない。



県内各地で交通安全教室を開催

人気の「ふくしまキッズマン」と保育園や幼稚園に出向き、交通安全の大切さを伝えている



子ども思いのキッズルーム

「ダイハツ福島」店内のキッズルーム。待ち時間に子どもが自由に過ごせるスペースを提供(川向店)



グループ3社ともに「くるみん認定」

「福島トヨベツト」と「ダイハツ福島」は、厚生労働大臣から「プラチナくるみん」の認定を受けている